

地方創生推進交付金 実績資料

資料 1

(単位:円)

事業名	事業概要	計画額	実績額	事業経費内訳	過不足額
農産物のブランド化普及促進事業	農産物のブランド化を図るための有力農産物の発掘とPR事業	1,000,000	330,000	小郡市農産物特産品化事業補助金 計 330,000	670,000
既成市街地再生に向けたまちづくり実践事業	自立したまちづくり活動を実践する取組みを推進していくにあたり、実践者や事業者の人材育成や活動の場を提供するなど、活動をエスコートする事業	4,000,000	3,666,280	小郡市エリアマネジメント人材育成業務委託料(1/2県負担) ※総額7,199,280 計 3,666,280	333,720
町家古民家活用事業	町家古民家を活用した講座の実施、町家古民家及び町家地区の案内、町家古民家での歴史及び文化の展示公開	2,800,000	2,800,000	小郡地区町家活用事業業務委託料 計 2,800,000	0
移住定住促進事業	東京や大阪での移住・定住イベント参加、情報発信、PR事業	608,000	43,927	移住定住イベント用消耗品 43,146 移住定住イベント荷物運搬費 781 計 43,927	564,073
		8,408,000	6,840,207		1,003,720

【委員説明用】

事業名	事業内容の説明
農産物のブランド化普及促進事業	①七夕枝豆を広める会(R1補助 137,000円) 【R1事業内容】地元での食育推進、収穫祭、PR事業(おごおりえだまめキャンペーン) ②小郡☆農ガールズ(R1補助 193,000円) 【R1事業内容】小郡ファーマーズマーケットやイオン小郡での宣伝会において甘酒の試験販売
既成市街地再生に向けたまちづくり実践事業	県補助事業を地方創生推進交付金の活用により実施。住民の高齢化や空き家の増加等の問題を抱える既成住宅市街地において、空き家等のストックを活用した地域のまちづくり活動を実践する取組で、九州工業大学による「ストックデザイン&マネジメントプログラム」を活用。 【R1事業内容】空き家活用視察ツアー、空き家活用ワークショップ等
町家古民家活用事業	【R1事業内容】①座敷と数寄屋の維持管理、②座敷と数寄屋を使った伝統文化教室(建物修復技術体験教室、庭園管理技術講座、茶道・礼法等教室)、③町家展示室での歴史資料展示、④町家地区見学者対応窓口維持、⑤主屋・客殿の建物調査、簡易修繕
移住定住促進事業	【R1事業内容】福岡都市圏の住宅展示場内にて移住促進キャンペーンを実施(久留米広域連携中枢都市圏移住促進WG)。

【交付対象事業における重要業績評価指標(KPI)】

指標	圏域における観光入込客数	圏域における直接消費額	圏域人口(維持)	
実績値	H28	9,162千人 (448千人増)	17,220百万円 (599百万円増)	460,852人 (549人減)
	H29	9,622千人 (460千人増)	17,766百万円 (546百万円増)	459,410人 (1,442人減)
	H30	10,300千人 (678千人増)	18,749百万円 (983百万円増)	457,941人 (1,469人減)
	R1	10,402千人 (102千人増)	19,222百万円 (473百万円増)	456,922人 (1,019人減)
	R2			
目標値(R3.3)	10,500千人	20,000百万円	461,401人	